

# 学会印象記

## TERMIS-EU 2017 ダボスにて

2017年6月26日(月)～30日(金)  
ダボスカンファレンスセンター (スイス)  
大会長：Prof R Geoff Richards (AO Research Institute Davos)

清水 達也

東京女子医科大学先端生命医科学研究所

TERMIS (Tissue Engineering & Regenerative Medicine, International Society) European Chapter Meetingが6月にスイスのダボスにて開催された。ダボス(スイス)のAO Research InstituteのR Geoff Richards教授が大会長を務められた。

TERMISはアメリカ大陸(AM), アジア太平洋(AP), ヨーロッパ(EU)の3つの地域で毎年個々に大会が開催されるとともに3年に一度世界大会が開催される。今回のヨーロッパ大会はダボス会議(世界経済フォーラム)で名の知られるスイス東部のダボスで開催された。標高1,560mに位置し、これまでのTERMIS大会の中で最も高い場所での大会となった。ちなみに主催施設であるAO Research InstituteはAO Foundationによる研究施設であり, AOは元来骨折治療の研究を実施するグループを意味するArbeitsgemeinschaft für Osteosynthesefragenの頭文字をとったもので, 現

在AO Foundationはスイスのダボスに本部があり, 骨折治療の研究以外にも様々な研究開発を実施しており, また世界中で教育活動を行っている団体である。

筆者が2006年にオランダで開催されたTERMIS-EUに参加した当時は, ほとんどが骨や軟骨の再生研究に関する報告であったが, 今回10年経って研究対象とする組織や臓器のバラエティに富んできたことを実感した。実際に参加者数もかなり増加しており, 口頭・ポスター発表合わせておよそ1,400の演題数となった。口頭発表は6会場同時進行で行われ, 満員になる部屋がでるほど盛況で, 活発な討議が行われていた。

初日の特別講演ではシエラレオネやルワンダにおけるエボラ出血熱対策や外傷に対する対策など社会医学的観点からの話があり, 再生医療との関連が少々薄い感も否めなかったが, 内容としては興味深いもので



Davos Conference Center